

授業と評価の年間計画

教科	数学	科目	数学A
使用教科書（発行所）	数学A（数研出版）		
履修条件 対象生徒	必修 普通科 1年		
学習目標	場合の数と確率、図形の性質、数学と人間の活動について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学を活用して事象を論理的に考察する力を養う。数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を育む。		
学習方法	授業を集中して受けることが大切である。授業を真剣に聞き、理解できない所はすぐ先生に質問して解決しよう。1時間で進む内容は、教科書2～4ページ程度である。予習をし、分からなかった所をチェックしておき、授業で解決する。そして、その日のうちに習った内容を本当に理解できているか復習することが大切である。		
学習計画 と ねらい	<p>1学期 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 第2節 確率</p> <p>2学期 第2章 図形の性質 第1節 平面図形 第2節 空間図形</p> <p>3学期 第3章 数学と人間の活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深め、それらを用いて多面的に考察できるようにする。</li> <li>・平面図形や空間図形の性質についての理解を深め、その性質について論理的に考察したり説明したりできるようにする。</li> <li>・数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりや数学と文化との関わりについて理解を深め、関心に基づいて発展させ考察できるようにする。</li> </ul>	
評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<p>数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。</p> <p>事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。</p>	<p>数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。</p>	<p>数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。</p> <p>問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしていたりしている。</p>
評価方法	学習への取組状況や定期考査などの結果を総合的に判断して評価する。		
その他			